

株式会社 オートバックスセブン



2004年3月期 決算説明会

2004年5月24日

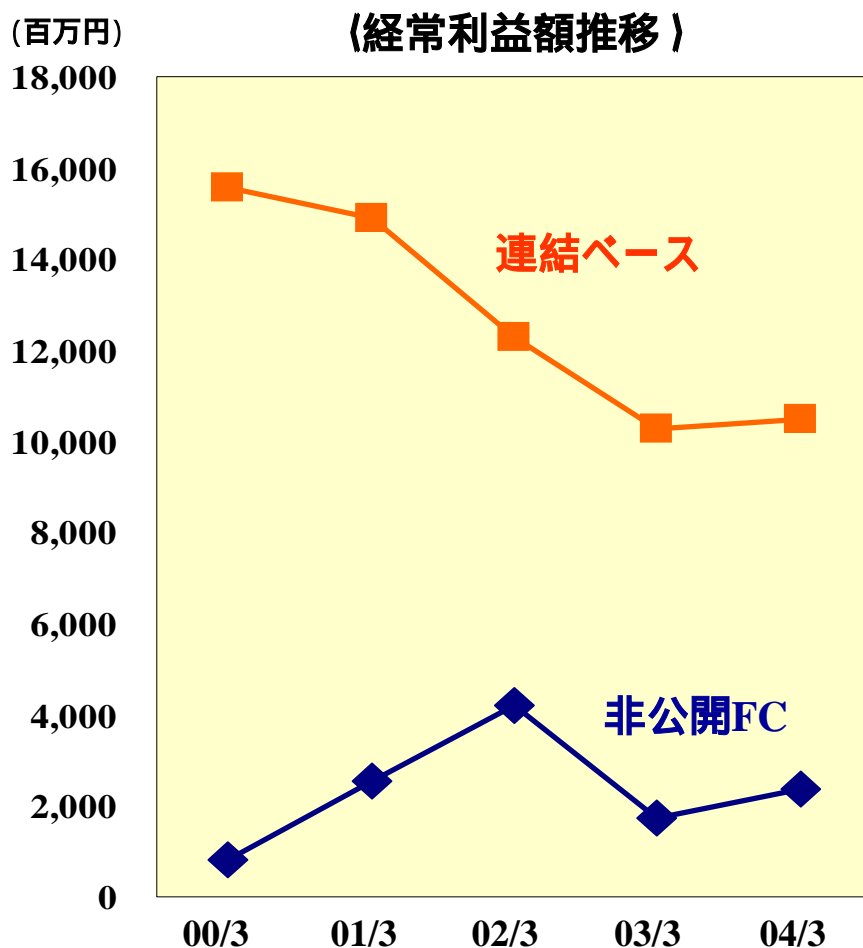
CEO 住野 公一

- ・ 2004年3月期総括

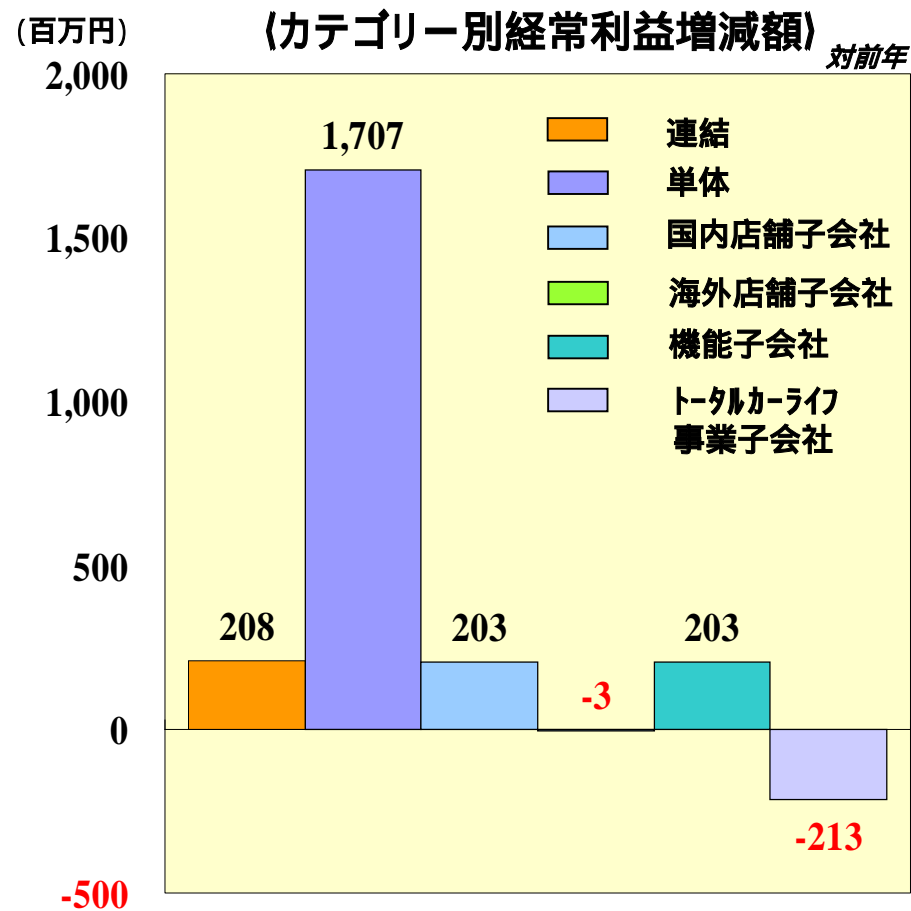
- ・ 今後の目標
 - 1. 今期の取組み
 - 2. 中期的な取組み



1. 中期戦略の着実な進捗によるチェーン収益体質の改善



2. 収益重視方針に基づく連結収益の回復



1. 中期戦略の着実な進捗によるチェーン収益体質の改善



A. エリア戦略

店舗タイプの多様化

店舗・法人の統廃合

B. トータルカーライフ 事業支援

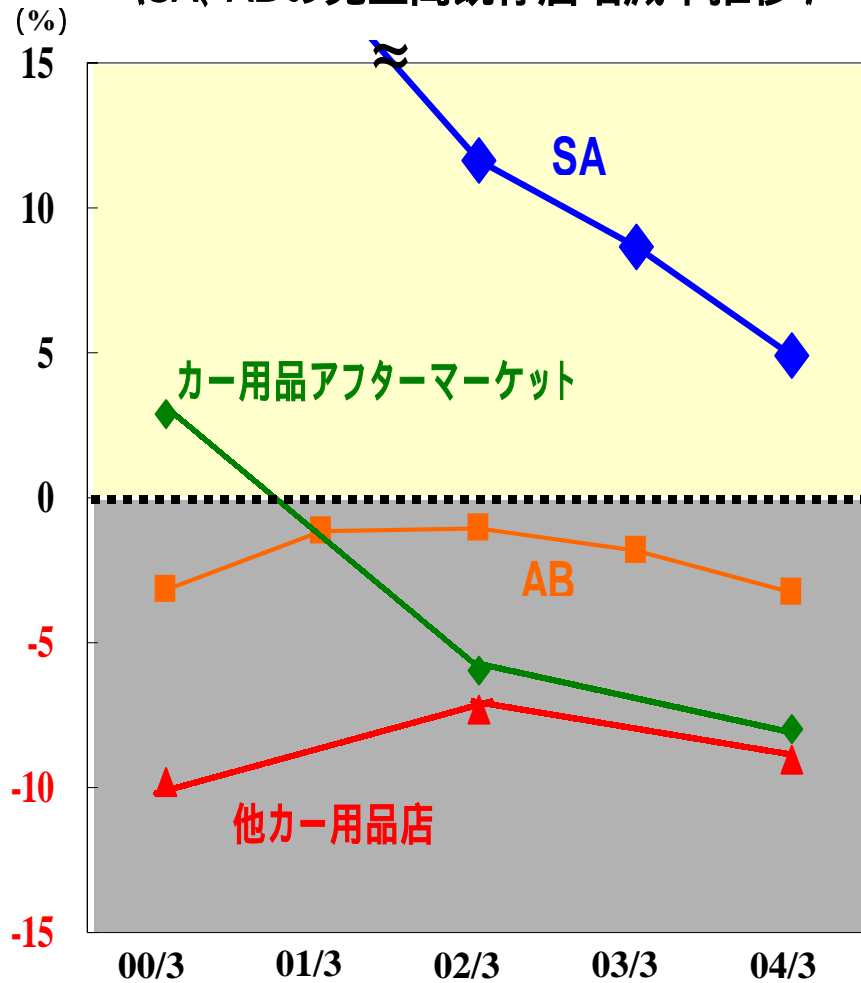
サービス売上の拡大

商品・サービスの
クロスセリング



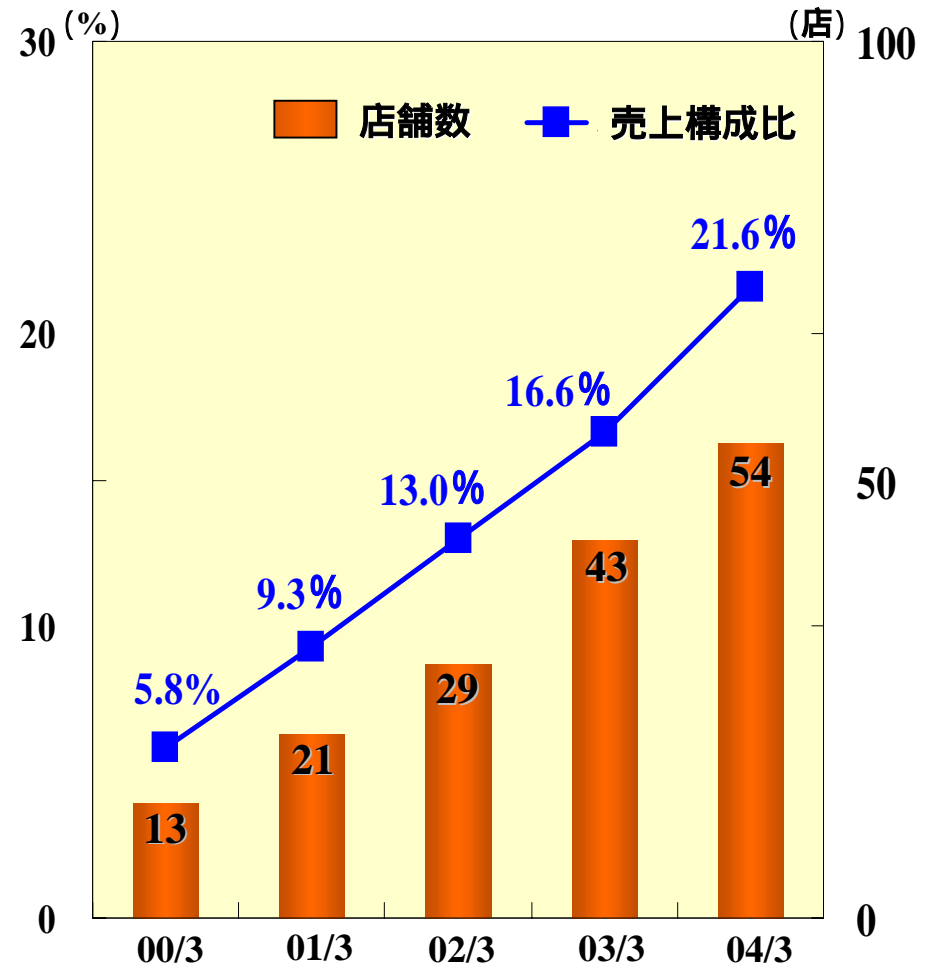
SA 出店による、チェーン収益の体質改善

(SA、ABの売上高既存店増減率推移)



(出典: AMNETWORK)

(SA店舗数・SA売上構成比率推移)





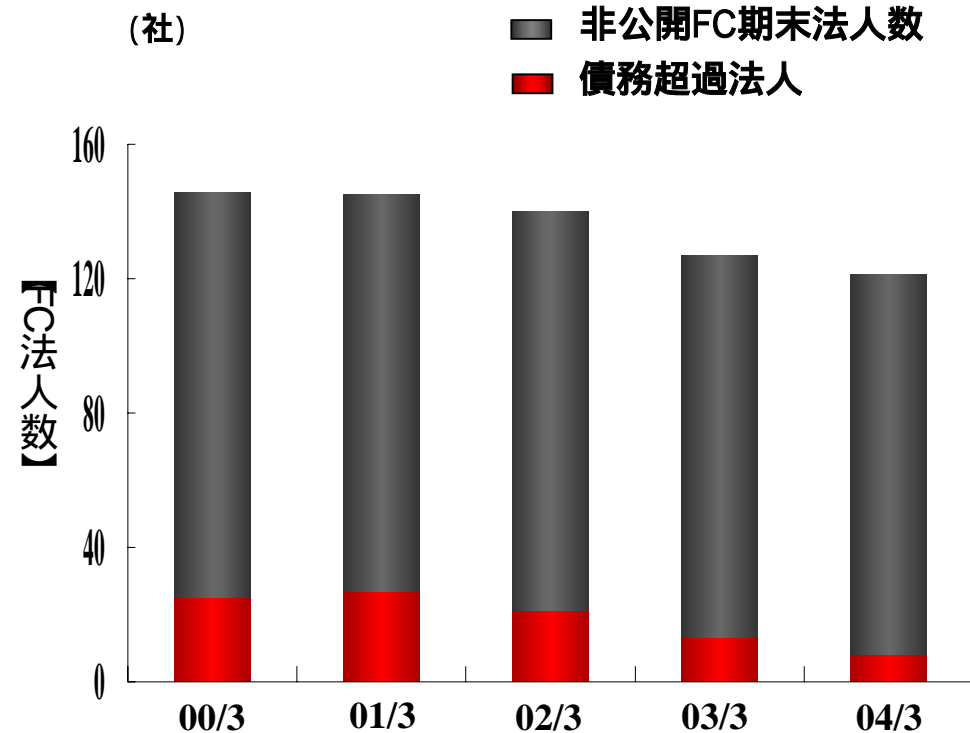
統廃合により、グループ店舗・法人の体質が改善

《 2004年3月期 オートバックス店舗 》
赤字店舗の状況

(経常利益ベース)

赤字店舗数	10.3%減少
赤字総額	45.9%縮小
1店当り赤字額	31.0%縮小

《法人数の推移》

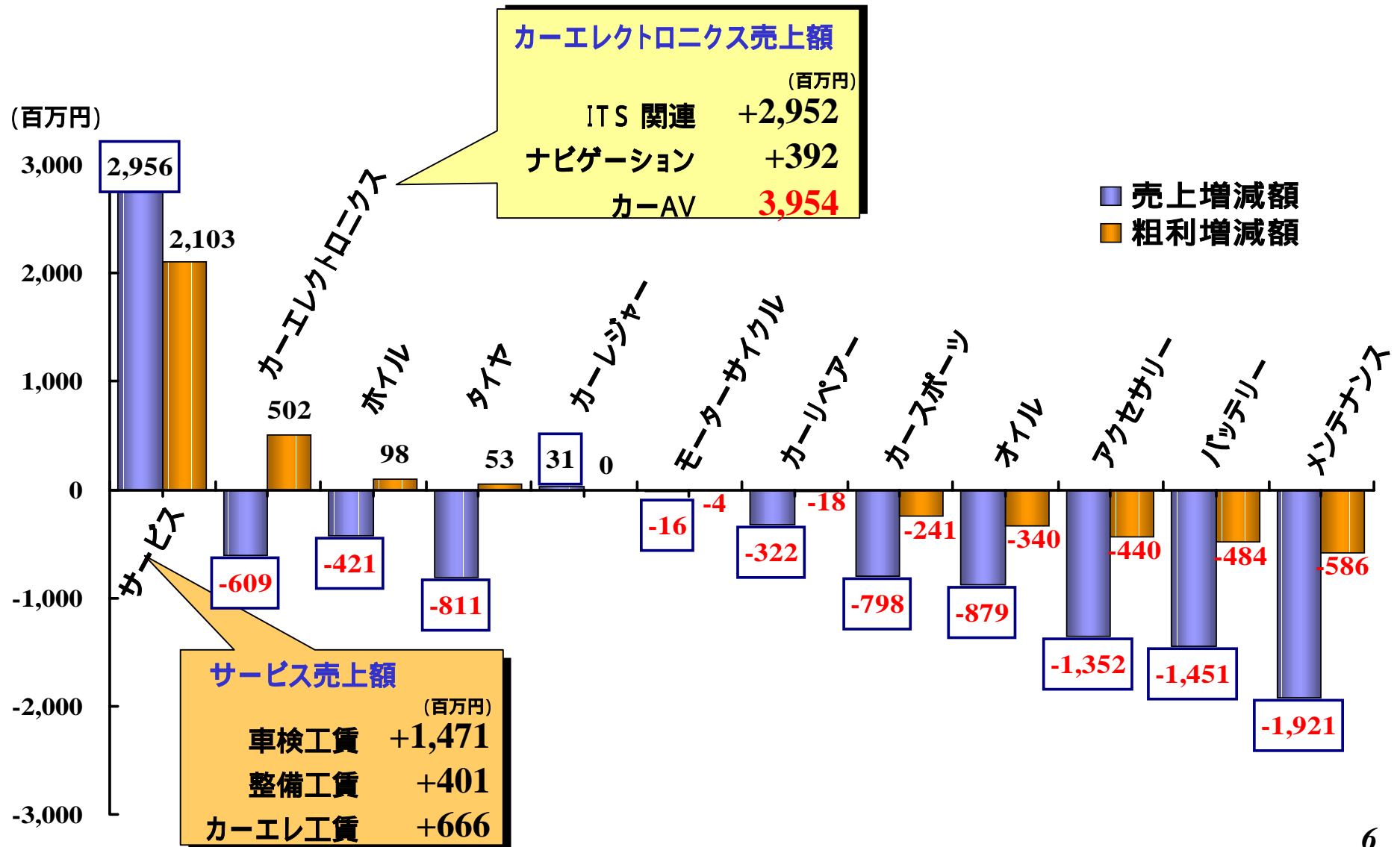


非公開FC期末法人数 (内、債務超過法人)

146 (25)	145 (27)	140 (21)	127 (13)	121 (8)
----------	----------	----------	----------	---------



サービス売上の拡大と主力商品粗利率の改善により、店舗粗利額が増加

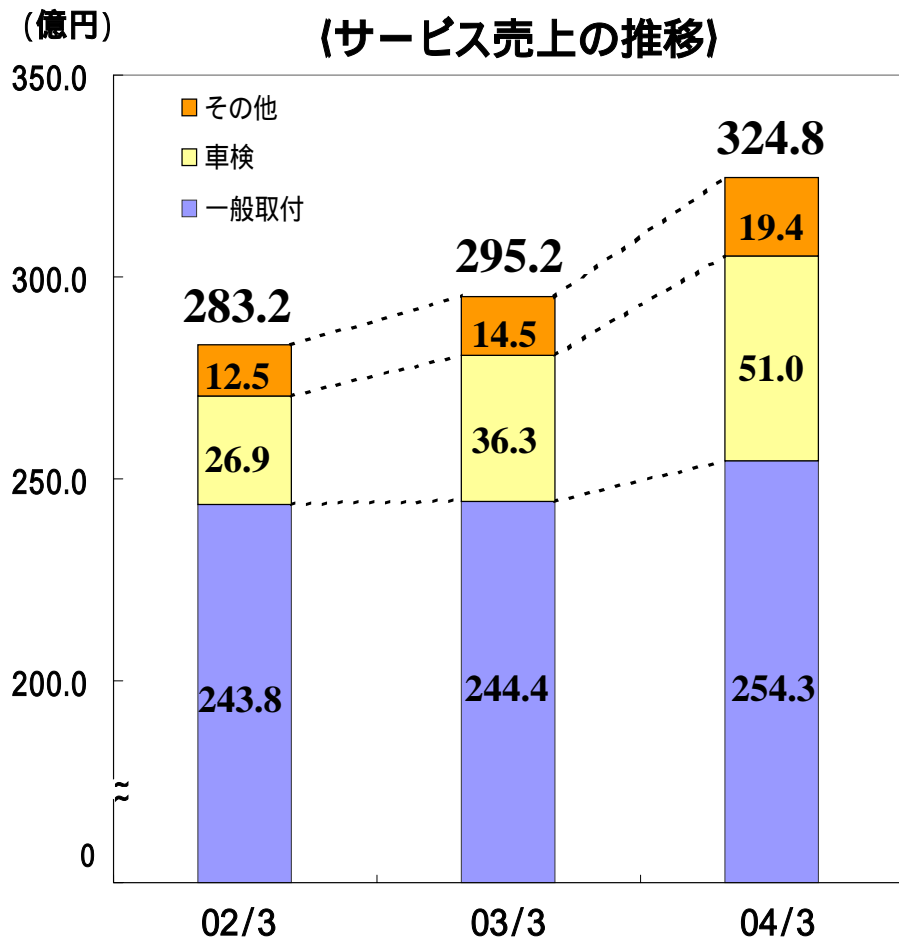




車検によるその他サービス売上(板金・塗装、整備等)と

カー用品販売にシナジー効果

◆ サービス売上拡大を牽引



◆ 物販へのシナジー効果

〈車検時のカー用品販売状況〉

	数量	2004年3月期 推定値	
		売上額(百万円)	売上比
タイヤ	32千本	248	0.5%
オイル	29千缶	56	0.4%
バッテリー	9千台	68	0.8%
メンテナンス ¹		182	0.9%
その他 ²		2,693	1.4%
合計		3,247	1.2%

¹ 主に、ブレーキパッド、オイルフィルター、ワイパーブレード

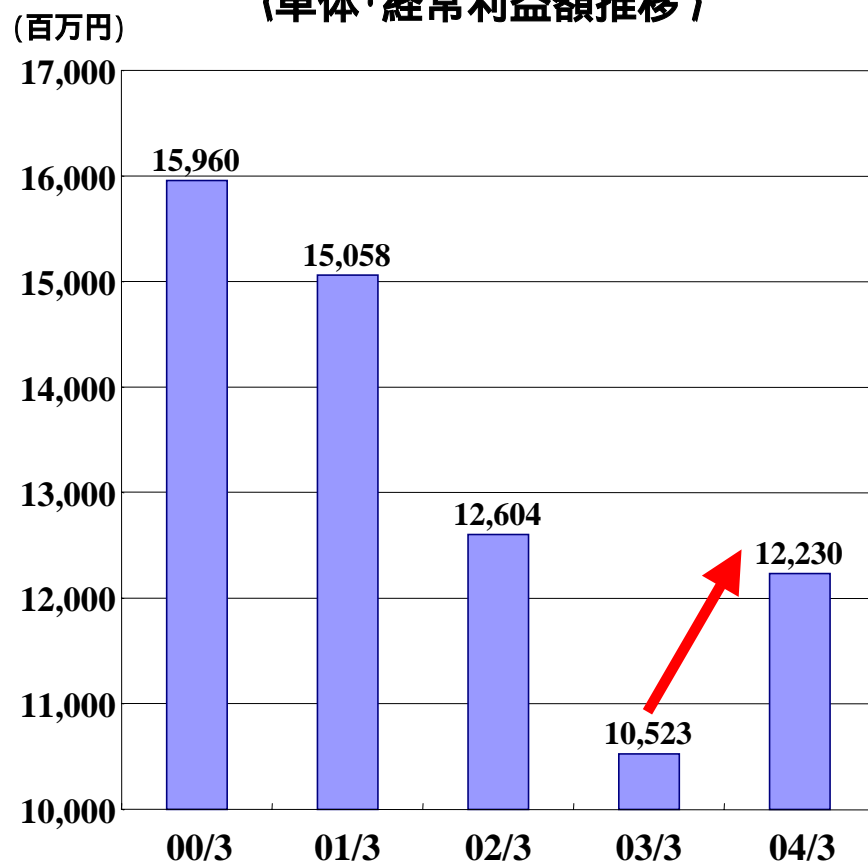
² 主に、ホイール、カーエレクトロニクス、カースポーツ

2. 収益重視方針に基づく連結収益の回復



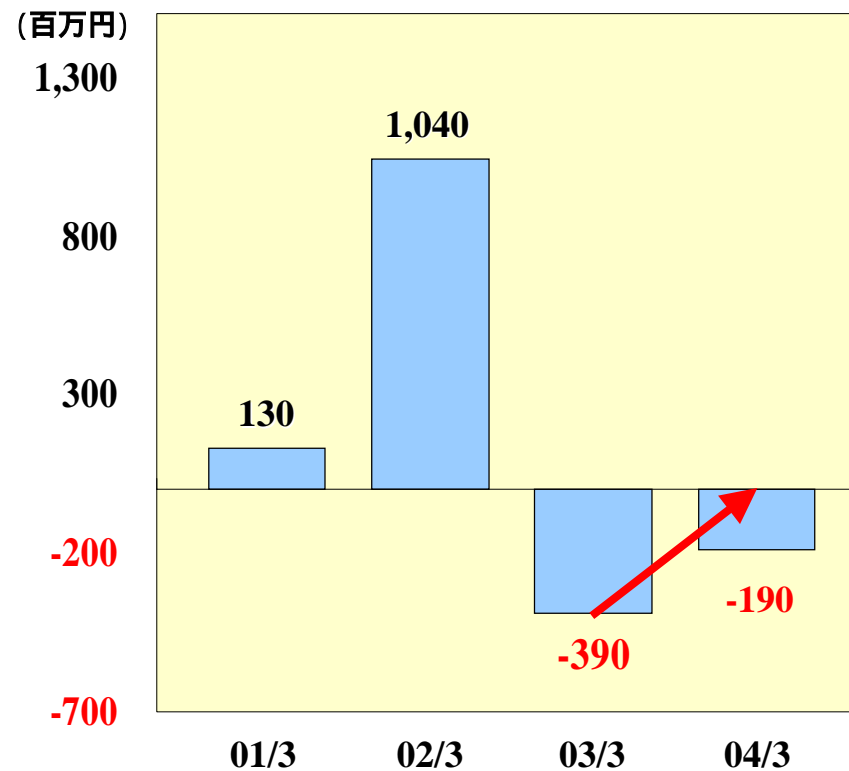
A. 単体収益の回復

〈単体・経常利益額推移〉



B. 国内店舗子会社収益の回復

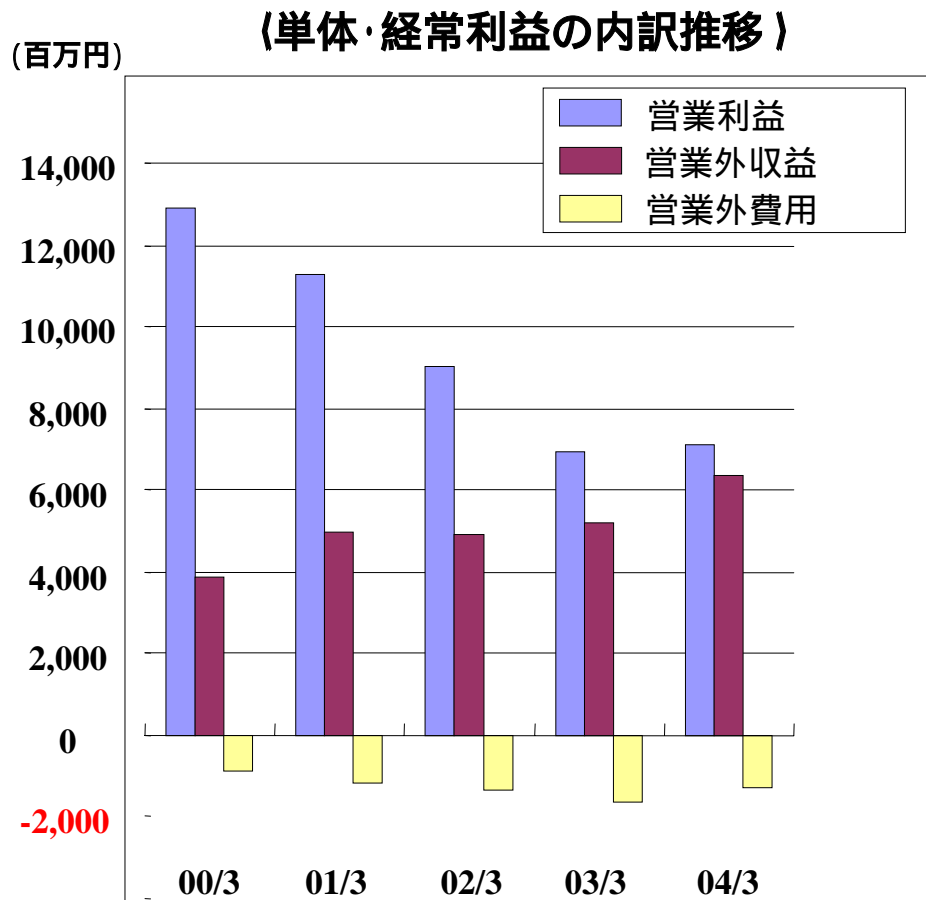
〈国内店舗子会社・経常利益額推移〉



A. 単体収益の回復

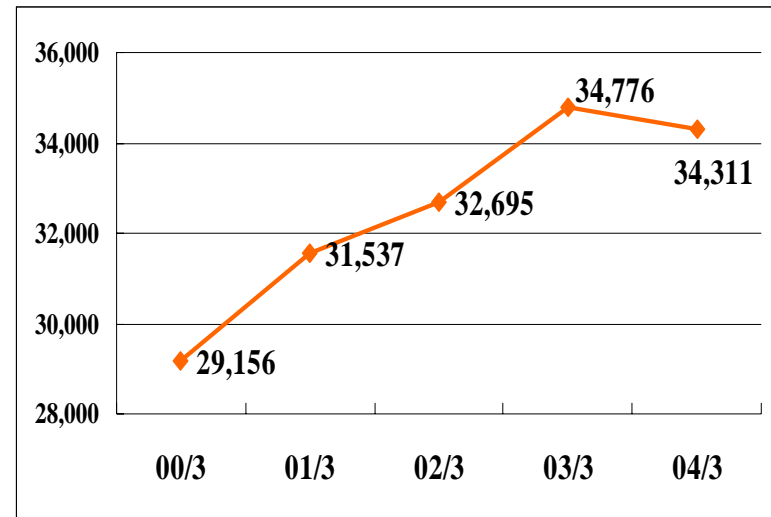


販管費コントロール強化に伴う営業利益の回復
 投資収益の増加による営業外収益の向上



営業利益の回復 (+ 2 億円)

販管費のコントロール強化



投資収益の増加

営業外収益の向上 (+ 11 億円)

B. 国内店舗子会社収益の回復



店舗・法人統廃合施策の継続

マネジメントの交代

オフィサーの連結責任明確化

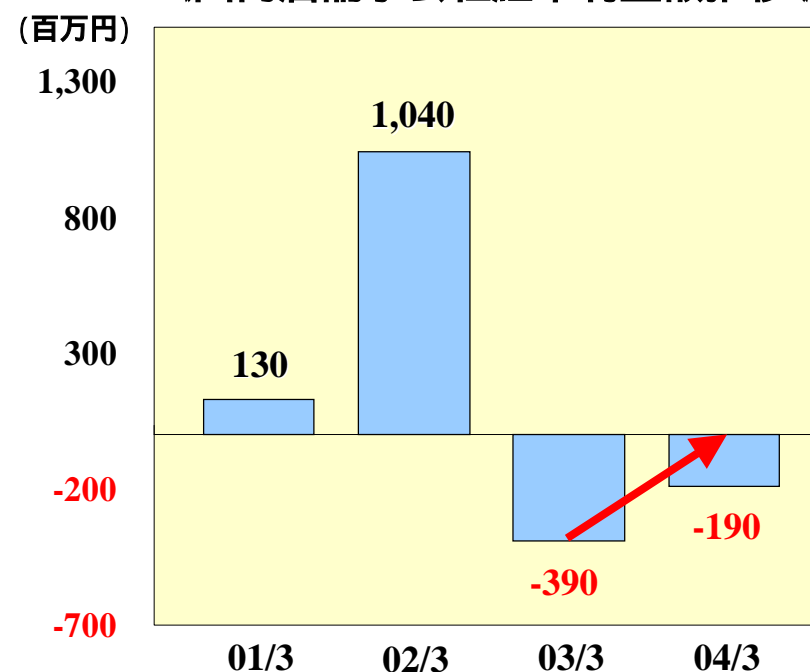
国内店舗子会社の利益改善が連結業績に寄与

〈国内店舗子会社への具体的施策〉

事業部名	法人名	形態	内容
北日本	A	マネジメント交代	
	B	営業譲渡	FCから8店舗譲受
北関東	C	合併	FCへ合併し清算
	D	営業譲渡	FCへ1店舗譲渡
	D	営業譲渡後 清算	新規子会社へ2店舗譲渡
南関東	E	マネジメント交代	
南日本	F	営業譲渡	FCから1店舗譲受
	G	営業譲渡	子会社(F)より1店舗譲渡
	H	合併	子会社(F)へ合併し清算

上記に加えて4月1日付で、マネジメント交代 7社
統廃合 5社
子会社化 2社

〈国内店舗子会社経常利益額推移〉



	01/3	02/3	03/3	04/3
子会社化社数	1	3	9	1
子会社整理数	0	0	10	3

1. 中期戦略の着実な進捗によるチェーン収益体質の改善

- ◆ SA出店により、チェーン収益の体質改善
- ◆ 統廃合により、グループ店舗・法人の体質が改善
- ◆ サービス売上の拡大と主力商品粗利率の改善により、店舗粗利額が増加
- ◆ 車検によるその他サービス売上（板金・塗装、整備等）とカー用品販売にシナジー効果

2. 収益重視方針に基づく連結収益の回復

- ◆ 販管費コントロール、投資収益の増加による単体収益の回復
- ◆ 国内店舗子会社施策強化による収益回復。今期は黒字化へ

2004年3月期 カテゴリー別業績 (実績)



(百万円)

		03/3	04/3	増減	
【連結】	売上高	230,478	227,077	3,401	1.5%
	経常利益	10,273	10,480	207	2.0%
単体	売上高	203,435	199,490	3,945	1.9%
	経常利益	10,523	12,230	1,707	16.2%
国内 店舗子会社	売上高	75,525	71,011	4,514	6.0%
	経常利益	393	190	203	51.7%
海外 店舗子会社	売上高	3,734	4,462	728	19.5%
	経常利益	1,301	1,304	3	0.2%
機能子会社	売上高	13,761	17,330	3,569	25.9%
	経常利益	458	661	203	44.3%
トータルカーライフ 事業子会社	売上高	2,077	3,750	1,673	80.5%
	経常利益	42	255	213	83.5%

- ・ 2004年3月期総括

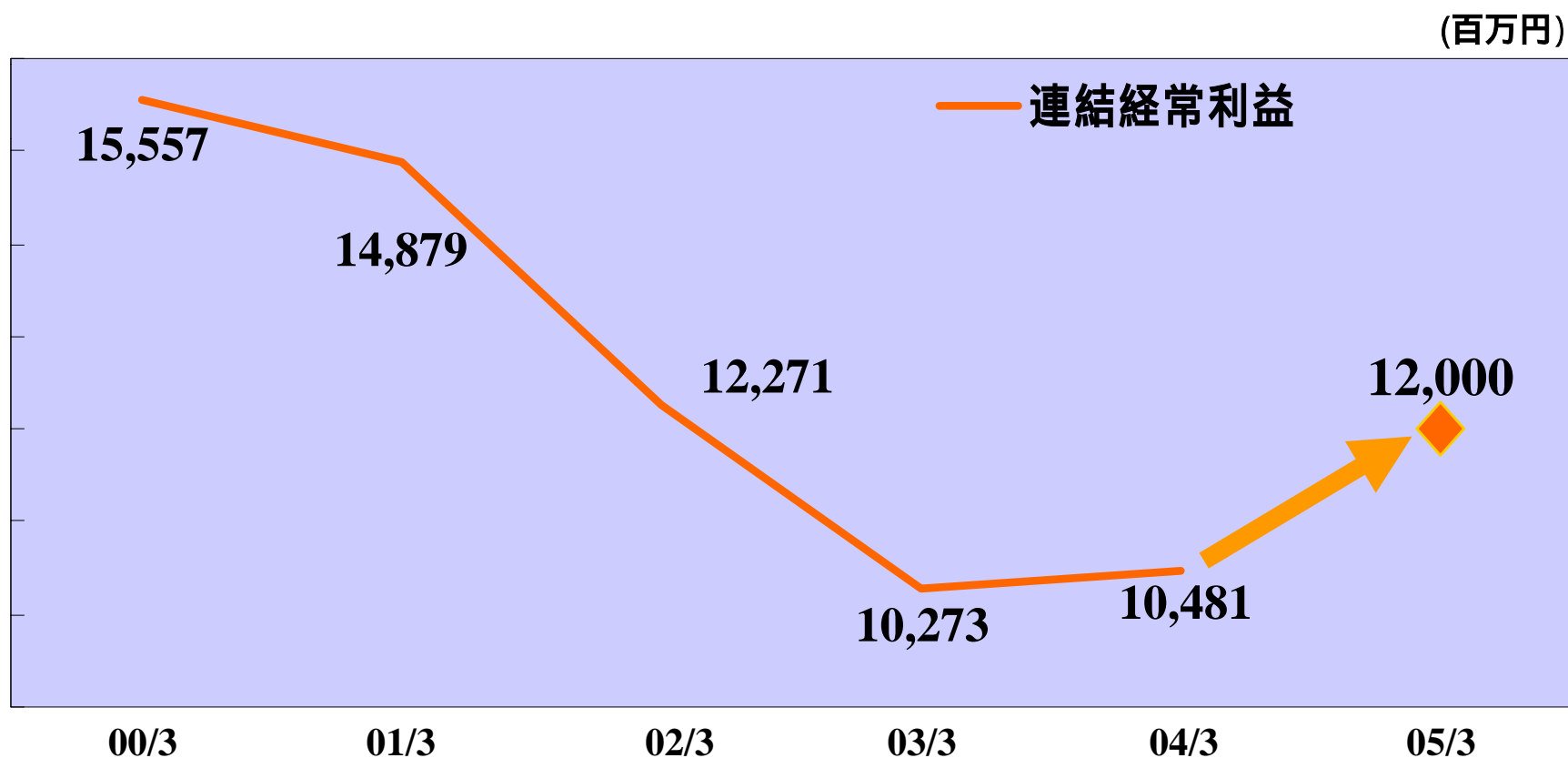
- ・ 今後の目標

1. 今期の取組み
2. 中期的な取組み

. 今後の目標



オートバックスが30周年を迎える今期から、連結収益
(連結経常利益額)を成長軌道に転じさせる



2005年3月期 カテゴリ - 別業績 (計画)



連結経常利益

15億円増益目標

(百万円)

		04/3実績	05/3計画	増減	
【連結】	売上高	227,077	234,000	6,923	3.0%
	経常利益	10,480	12,000	1,520	14.5%
単体	売上高	199,490	201,000	1,510	0.8%
	経常利益	12,230	12,300	70	0.6%
国内 店舗子会社	売上高	71,011	78,500	7,489	10.5%
	経常利益	190	300	490	-
海外 店舗子会社	売上高	4,462	4,800	338	7.6%
	経常利益	1,304	900	404	44.9%
機能子会社	売上高	17,330	17,500	170	0.9%
	経常利益	661	500	161	24.4%
トータルカーライフ 事業子会社	売上高	3,750	5,200	1,450	38.7%
	経常利益	255	0	255	-

1. 今期の取組み



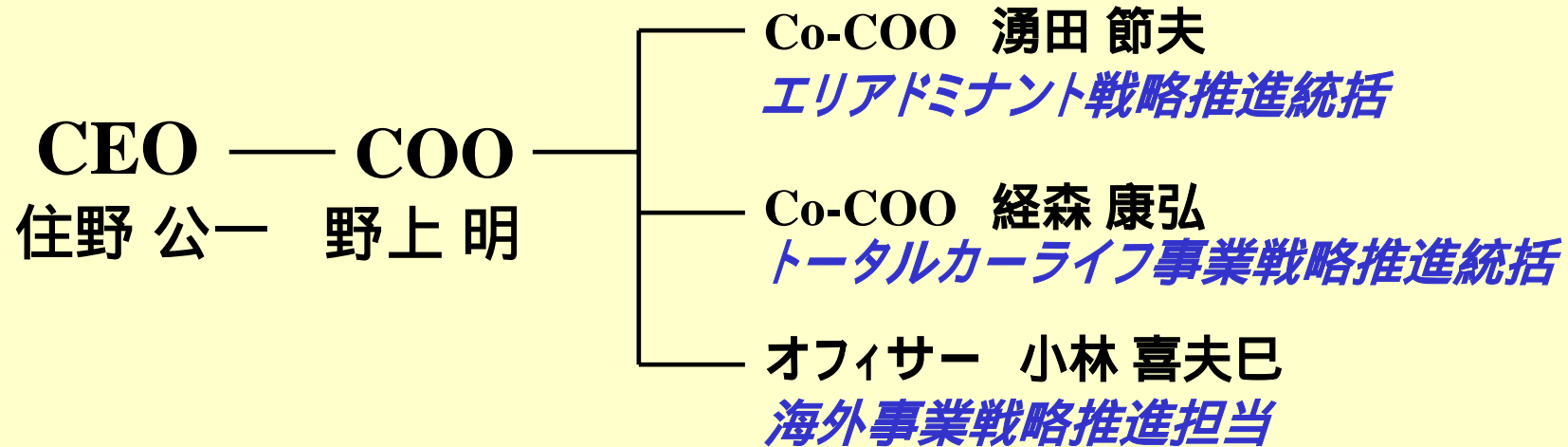
連結経常利益15億円の増益を達成する

	増益見込額	主な要因
国内 店舗子会社	(百万円) + 490	➤ 前期実施した23社のマネジメント交代及び統廃合の効果
海外 店舗子会社	+ 404	➤ フランスの事業縮小に伴う赤字の圧縮
トータルカーライフ 事業子会社	+ 255	➤ 先行投資の回収期へ

2. 中期的な取組み



戦略中心の経営機構への転換



- Co-COO (戦略統括) の設置
- 戦略推進会議の設置

各戦略推進のスピードアップ

- * なお、一方でコーポレートガバナンス体制の強化も行う
 - ・社外取締役、監査役の招聘
 - ・コンプライアンス推進室の設置



見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性があります。